

月刊

ボラナビ

2009年

12 No.136
月号

無料 自由に
お持ち帰りください

今月の表紙イラスト

札幌でプロとしてご活躍中の
柏葉祐司さんにご提供いただき
ました。

表紙のイラスト
募集中

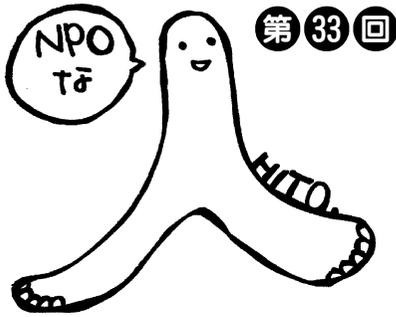
セルフヘルプの輪

N P O 人

NPO法人旅とびあ北海道
代表理事 下間啓子さん
北海道若年認知症の人と家族の会
会長 木村邦弘さん

北海道のNPO法人認証数
1,544 法人
(2009年9月末現在)

very merry Christmas



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....

北海道新聞社会福祉振興基金助成



著者 NPO 法人 旅とびあ北海道代表理事
下間 啓子 (しもま けいこ)

1950 年当麻町に生まれる。旭川平和通買物公園事務局、旭川物産協会などに勤務し、祭りの企画や北海道観光につながる地域振興の仕事に従事。1999 年旅とびあ北海道設立、2001 年 NPO 法人となり現在に至る。

病気で社会のルールから離脱

私が 20 代の頃は、働く人たちのほとんどが仕事にやりがいや生きがいを求めている時代で、同時に競争社会が始まりをみせていた。私もそのただなかにおいて、仕事は何をやっても面白く、精神的に取り組むことができたが、当手を振り返ると、力量以上に成果を求めている自分がいた。そのストレスが積もり積もったのか、20 代半ばから体調を崩し、その後、臍臓 (すいぞう) 病が発見され、30 代前半から入院・手術・療養生活が長期にわたった。一度は職場復帰したものの休みがちとなり、「後進に道を譲るように」と言われ、病気＝離職を余儀なくされた。重病であることより仕事を続けたい意志が断たれたことへの憤り、焦り、生きることへの自信喪失などで居場所を失い、悩み、人間不信の日々が十数年間続いた。

住み慣れた街で社会との絶縁状態にあい、その環境に耐えかねた私が選択したのは「逃避の旅」であった。知人を介してフィリピン・マニラのスラム街の一家族と出会い、そこに下宿させてもらうことになった。その場所は「想像を絶する」という言葉そのものであったが、気がつけば「郷に入っては郷に従え」で、そこでの生活に馴染もうとしている私があった。湿度が高く朝方に眠りにつくスラムでの生活は 3 食昼寝付きで、外出時には必ずその家の父娘が安全確保のため、そばにつけてくれた。親子 2 世帯のほか親せき兄弟など 10 人が共に住んでいたが、誰にも仕事はなく、私の宿泊代がその家族の収入源であった。明日の生活の保障もないこのスラムには、住民が肩寄せ合って生きていく「共助」が存在していた。その風景は私が育った戦後の混乱期にも似ていて、はしゃいで走り回る子どもたちは幼い頃の自分と重なり、とても懐かしく親近感を覚えた。

私はその家族との生活から、生きることの「すさまじさ」を感じた。数ヶ月滞在の後、そのエネルギーは女・沢木耕太郎をめざすひとり旅のスタートとなった。



雨上がりに水浸しの路面で遊ぶ子どもたち。
1989 年フィリピンのマニラで。

旅は生きるエネルギー～旅先で出会った人たちから

行く先々、国は違っても、人々はみな同じ。南の島には、内戦が続く祖国を捨て、数ヶ月の航海で荒波に吞まれて一人二人と家族を失い、命辛々たどり着いたベトナムやカンボジアのポートピープルがいた。山登りが大の苦手な私だが、気がつけば山岳民族の村にたどり着いたこともある。「トイレは草むらで」と言われ、ウンチをすると豚がやって来てきれいに食べる…そんな原始的なエコ生活(?)を今なお続けている国境をもたない人たちが、そこにはいた。一方、イスラムの国では、サービス業は男性が主流で、道路工事現場で働くサリー姿の女性に思わず目を閉じた。往来の激しい都会の真ん中には、ホームレス風の母が乳のみ子を抱え、信号待ちの車に物乞いする姿もあった。出会う人のほとんどが、貧しくもたくましく生きていた。それに比べて、生きることに後ろ向きになっていた私は、ほんとうに小さな存在であることを思い知らされた。

人間嫌いから始まった旅だったが、見知らぬ地の見知らぬ人たちの笑顔に「人は見捨てたもんじゃない」と教えられ、マイナスの感情は少しずつ取り払われた。まさに、旅は生きるエネルギーとなり、もう少し生きてみようと思わせてくれた。ただ、そのエネルギーをどう引き延ばせばいいか。その答えもまた、見知らぬ人のメッセージにあった。『住み慣れた街で、今度は逃げないで、自らの体験を活かして自らが人々の困難を解決していく立場になって生きていくこと。』

「個人的なことは政治的なこと」とフェミニストが言うとおり、20代だった私の置かれた環境は私だけの問題ではなく、社会的・普遍的な問題としてとらえ直すことができる。病気や高齢になると、または障がいがあると、子どもが育つときと同じで人の手が必要になる。この事実を認識する人が増えれば、差別・偏見のない住みやすい社会ができる。そんな地域社会の変革として、できることから手をつけたのが、私が仲間たちと始めた旅行支援事業だ。旅を通して生き直しの人生をスタートさせた私の個人的な体験のように、人との触れ合いや人の手を借りることで、誰もが豊かな人生を送ることができる。このことを一人でも多くの人と共有したい。実践は気づいた人から始めることになる。体力がない人も働ける職場づくりにもつながるだろう(その一つが私の職場ともなった)。

旅とびあ北海道が誕生して10年。バリアフリー観光推進の種まきは、ようやく芽が出てきた感がある。道内にバリアフリーツアーサポートセンターを設置し、ネットワーク化する構想もできた。この間に、私には過酷な労働に耐えられる体力がついた。好きなことへの挑戦で自然治癒力が高められたのだろうか。こんな形で社会参加ができるとは想像だにできなかった。気がつけばもうブレ還。私の最後の仕事は、気持ちよく「後進に道を譲る」こと。そして一度しかない人生まだまだやりたいことがいっぱいある。そんな人生を歩んでいる今を喜びたい。



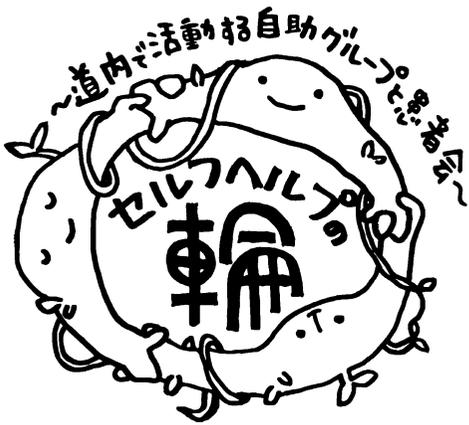
大雪原にあおむけに横たわる夢がかなって喜ぶ車いす利用者。2006年和寒への旅とびあツアーで。

ボランティア募集中

旭川在住で、子ども好きで子どもと一緒に遊んでくれる人や、障がい者に理解のある人は、児童デイサービス部門を手伝っていただけませんか。そのほか、ホームページの更新ができる人や、イラストレーターソフトが使える人で、ボランティアしてくれる方がいましたら、ご連絡ください。

■■ NPO 法人 旅とびあ北海道 ■■■■

〒078-8330 旭川市宮下通 23 丁目 6-157
Eメール info@tabitopeer.org TEL : 0166-32-3910 FAX : 0166-32-2217
ホームページ <http://www.tabitopeer.org/>

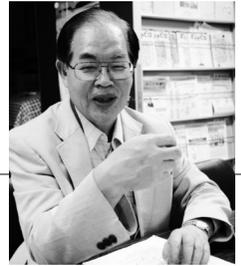


さまざまな悩みを抱えた人たちが自発的に立ち上げた「自助グループ」が各地に広がりつつある。立ち上げた経緯や活動はさまざま。体験を共有し、自らを見つめる。心に寄り添う活動を紹介する。

札幌市さぼーとほっと基金助成

北海道若年認知症のひとと家族の会（北海道ひまわりの会）

会長 木村邦弘（きむら くにひろ）さん



第 3 回

ひまわりのように 明るく希望を持って生きていく

2006年9月、当時はまだなじみのない「若年認知症」の当事者や家族が、相談や交流できる北海道唯一の場が誕生した。60人でスタートした会員数は、当事者と家族に加え、会の活動や経営を助けるサポーターを含め現在180人になり、支え合いの輪が広がっている。

若年認知症とは、65歳未満に発症した認知症疾患の総称。40～50歳代の働き盛り世代の疾病のため、家庭や社会生活にさまざまな困難が生じると言われている。会長の木村邦弘さん（64）は、妻（61）の発症で初めて若年認知症と接する。当時、妻は54歳。認知症の義母の介護疲れによる「うつ」状態から異変を感じ、介護を離れた後も「合唱サークルに行ったけど、誰も来なかった」「病院の帰りに道に迷った」などが日常茶飯事となる。病院では、慢性ストレスによる「心因性うつ症状」と診断されるが、行動は改善しない。最初の気づきから2年半を経て市立札幌病院精神科で受診し、「アルツハイマー型痴ほう症の疑い」とされた。当時、若年認知症については相談窓口や介護施設はなく、妻は高齢者ばかりのデイサービスを利用するも、馴染むことができなかった。そんな折、「ぼけ老人を抱える家族の会（当時）」を通じて、北竜町で開かれた若年認知症家族会「彩星（ほし）の会」（東京）主催の講演会に参加。適切なサービスや治療が可能な施設ともつながった。そうした経験から、地元で家族会の必要性を感じ、「北海道ひまわりの会」を立ち上げた。

会では、家族による交流の場「つどい」開催や、相談窓口の設置、通信発行のほか、さまざまな家族会と交流し、国や自治体に福祉の充実を訴えている。若年認知症の患者数は道内に1,600人、札幌市に600人前後と見られる。活動を通じ、社会的理解の広がりを感じているが、もっと一人ひとりの状況にあった、居住地におけるサービスの充実が必要だ。

木村さんは妻の状態を「こころの旅」と表現する。娘や息子と協力し、会社勤めのかたわら、妻を笑顔で支える。「誰にも言えず悩んでいる当事者や家族に、少しでも声を届けたい」——妻の旅に寄り添いながら、会の活動を続けている。

北海道若年認知症のひとと家族の会（北海道ひまわりの会）

若年認知症のひとと家族が安心して生活できる社会づくりをする会。当事者や家族による交流の場「つどい」の詳細は、会へお問い合わせください。

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7内
TEL：090-8270-2010（電話相談は木曜10:00～15:00）
FAX：011-204-6006
ホームページ <http://www.geocities.jp/himawari27ad/>

ホームページでも様々な
自助グループを紹介中

<http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>

「こんな自助グループがあれば参加したい」といった意見や情報をお待ちしております。



施設や人が多く集まる場所に出張し、芸を披露してくれる方をご紹介します。

芸を依頼したい方は、日時や謝礼、交通費などに関し掲載先に直接ご相談ください。

また、掲載を希望する芸をお持ちの方はぜひボラナビにご連絡ください。

ホームページでは、32組を紹介しています(2009年11月現在)。

出張芸ボランティア

検索

楽器演奏、マジック、小噺、漫談など ツインクル



自己紹介

高齢者施設にいる方たちのお役に立ちたくて2009年7月に発足し、同年9月まで、福祉施設など17カ所で19回の公演をおこないました。現在、メンバーは22人で、演奏できる楽器は、フルート、オカリナ、アコーディオン、ウクレレ、ギターなど10種以上、演芸は小噺、漫談、芝居カラオケ、手品などです。公演は30分～1時間程度です。毎回、テーマソングの「キラキラ星」でスタートし、最後はみんなで懐かしい歌を歌っています。会名は英語で、「キラキラ輝く」という意味で、その名のとおり、活動の後はお年よりもボランティアもみんな笑いと喜びで輝いています。

- 連絡先/TEL・FAX：011-386-2950
- 出張地域/江別市内
- 出張日時/11：00～15：00が基本。会員との調整があるので早めにご連絡ください。
- 謝礼について/不要
- その他/一緒に活動する仲間を募集しています。一芸をお持ちで江別市内の施設に行ける方であれば、上手下手は問いませんし、江別市民でなくてもかまいません。すでに活動されているグループで登録していただくことも可能です。

墨彩画を取り入れた絵の指導 浅井康曠さん



自己紹介

定年を機に、趣味で墨彩画を始めました。墨と絵の具を使って描くもので、片岡鶴太郎さんの作品が有名です。その後、ボラナビで「老人施設の趣味活動ボランティアの募集」を見たことがきっかけで、現在は10カ所の老人施設を回り、指導をしています。墨彩画にぬりえや絵手紙の手法を組み入れ、利用者の方々には、見本を見ながら用意した下絵に色を塗ってもらい、カレンダーやカードを作っています。月に2、3回開催するところもあり、全施設で300人程が講習を楽しみにしてくださっています。

- 連絡先/TEL・FAX：011-881-9316
- 出張地域/札幌清田区より1時間以内で行ける範囲を希望
- 出張日時/平日午前中
- 謝礼について/原則無料ですが、教材費(コピーや紙代)をいただけると助かります。
- その他/現在うかがっている施設で、資料配布や利用者の方々への対応をお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。「ボランティアしてもいいけど、絵手紙は初めて」という方のために、月2回、教材費のみをいただいて講習会を行っています。お気軽にご連絡ください。

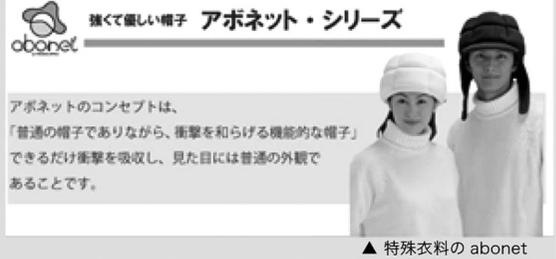
さぼーとほっと基金

今年度は、これまでに、76件、約652万円のご寄付をいただいています。
ありがとうございました。今後も応援よろしくをお願いします。

<企業の新しい社会貢献の取組み>

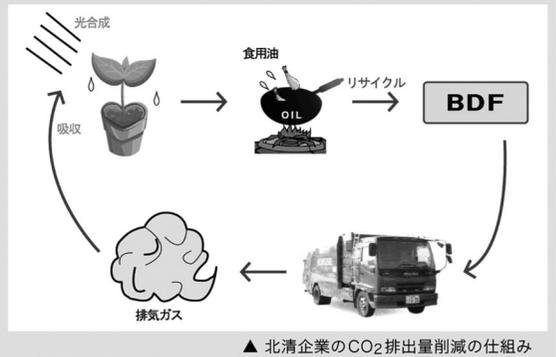
株式会社特殊衣料

同社30周年記念事業として100万円を寄付。冠基金として「特殊衣料 abonet 基金」を設置し、今年度は、「生き生きとした冬の生活を楽しむためのまちづくり活動」をテーマに助成します。



北清企業株式会社

同社は、BDF（バイオディーゼル燃料）を活用したCO₂の排出削減に取り組んでいます。創業40周年を機に、排出量1トン削減につき1,000円（今年度は359トン分、35万9千円。）を継続的に寄付していただけることになりました。



さぼーとほっと基金の登録団体募集中

さぼーとほっと基金の助成を受けるためには、団体登録をする必要があります。登録はいつでも受けつけていますので、気軽に下記までご相談ください。

情報交換会を開催しました

10月2日、登録している10団体と共に、基金の活用方法などについての「情報交換会」を開催しました。この中で、話に上がったある取組みをご紹介します。

「メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン 札幌支部」の取組み例

ある企業から多額の寄付の申し入れがあったのですが、当団体は一般財団法人扱いのため、寄付をしていただいても企業は税法上のメリットを受けることができないという問題が生じました。そのとき、さぼーとほっと基金に当団体を指定していただくことでその問題が解決され、お互い良い関係を築くことができました。それ以来、この基金のリーフレット（寄付申出書）に私たちの団体名を記載して常に持ち歩き、寄付のお話があった時には、この基金の紹介をするようにしています。

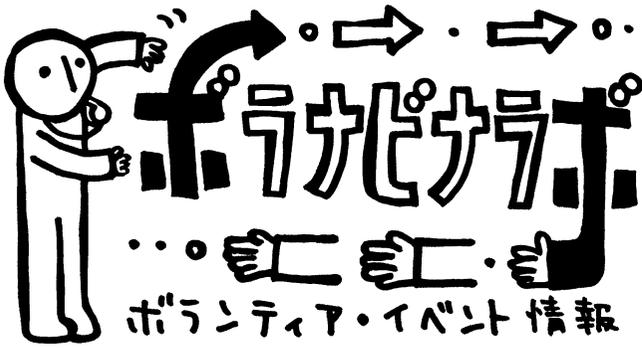


杉山逸子さん

さぼーとほっと基金の寄付申出書付リーフレットが必要な方は下記までご連絡ください。

【このページについてのお問合せ】 札幌市市民活動促進担当課

〈TEL〉011-211-2964 〈Eメール〉shimin-support@city.sapporo.jp



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。
 ●ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>
 ※インターネット環境が無い方は、FAXや郵便でお送りください。

次号 2 月号の締切は年末のため 12 月 20 日です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

随時

みなさんのお宅に書き損じハガキは眠っていませんか？

フィリピン耳の里親会は、フィリピンにいる耳の不自由な子どもたちが学校に行けるように里親さんを募集したり、高価で買うことができない補聴器を集めてプレゼントしたり、フィリピンの聾学校の先生を日本で研修させたり、日本から聾学校の先生や聾児を育てた親ごさんを派遣して現地でセミナーを開いたりしています。みなさんのお宅に書き損じハガキ、古い官製ハガキや往復ハガキ、お年玉懸賞であたった切手などはありませんか。私たちの活動のため、寄付していただければ幸いです。恐れ入りますが、郵便などでお送りいただくか、事務所までご持参ください。

- お問合せ／フィリピン耳の里親会 Eメール mimi-sato92@nifty.com TEL・FAX：0166-55-9654
 〒070-0825 旭川市北門町 19 丁目 2155-165 ホームページ <http://homepage2.nifty.com/jefp/>

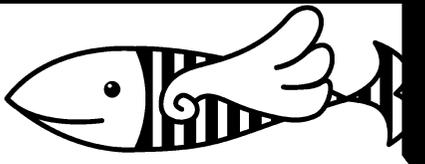
随時

環境に興味のある学生募集!

私たちは、環境に興味のある学生個人や環境団体のネットワークをつくって、交流したり、イベントを一緒に企画したりする活動を 2003 年から行っています。個々の「考え・情報・ノウハウ・ヤル気」を高め合うことで、それを原動力に環境活動の活性化を図りたいと考えています。また、学生だけでつなげるのではなく、産学官が一体となった活動を実現することで、環境問題解決の糸口を見出し、社会や地球環境全体へのアプローチにつなげることを目指しています。「えこふお」で一緒に楽しく環境を学びませんか？ バイトや部活をしながらでも大丈夫です！説明会への参加や見学を希望される方はご連絡ください。



- 日時／特に決まっていません。月に 3 回程度
- 場所／札幌市民活動サポートセンター（札幌市北区北 8 条西 3 丁目 エルプラザ 2 階）
- 参加費／月 300 円
- お問合せ／北海道学生環境ネットワーク「えこふおっかい DO」〈担当：恩田〉
 Eメール ecofo@hotmail.com 携帯：090-2050-2191 ホームページ <http://www.econakoto.net/>（ブログ）



あけまして
おめでと
うござい
ます。

ボラナビ、めでたく十二回目の
お正月です。
スタッフ一同がんばって参りたい
と思っております。
本年もよろしく願いたします。

11010

※ボラナビは今年も経費削減のため、年賀状は出しません。
一足お先に新年のご挨拶をさせていただきます。

12/5 「ボランティア展 2009」のボランティア募集

「ボランティア展 2009～育てよう思いやり」会場でのボランティアを募集します。これは、温かい地域づくりを目指して、特別支援学校や区、社会福祉協議会などと協働して開催するイベントです。地域の方たち、子どもたち、障がいのある方たちと楽しく交流しながら、ボランティアをしてみませんか。内容は、展示やバザーの手伝い、音楽会会場整理、障がい児・者サポート、点字や盲導犬講習の受付などです。ボランティアをしながら、講習に参加することもできます。都合のつく時間だけで結構です。中学生以上ならどなたでも参加できます。また、当日会場に置く作業所や団体などのパンフレットも募集していますので、希望される施設・団体の方はお知らせください。

- 日時／12月5日(土) 10:00～18:00 ●場所／札幌サンプラザ(札幌市北区北24条西5丁目)
- 交通機関／地下鉄南北線「北24条駅」下車徒歩3分
- その他／当日、観客としてお越しいただくのも大歓迎です。入場無料
- お問合せ／ボランティア展実行委員会〈担当：菊池〉
Eメール BRB12036@nifty.ne.jp TEL・FAX：011-736-1645 ホームページ <http://www.kbc.gr.jp/ai>

12/25 カレンダーリサイクル市にご協力ください

ご家庭や職場で使わない2010年のカレンダーや手帳を集めて、販売します。収益金は、UNHCR「みどり1本」運動、ユネスコ活動や道内のボランティア活動の支援のため配分します。カレンダーなどの提供と購入にご協力ください。

- 収集について／2009年12月25日(金)・2010年1月4・5日(月・火) 10:00～16:00に、北海道ボランティア・市民活動センター(札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2.7)にて。事前申込不要。随時お持ち込みください。
- 販売について／2010年1月6・7日(水・木)10:00～16:00(7日は15時終了)に、かでの2.7展示ホール(中央区北2条西7丁目)、札幌国際プラザ(中央区北1条西2丁目 MNビル5階)、ラルズプラザ8階(中央区南2条西2丁目)にて。
- 主催／札幌ユネスコ協会
- お問合せ／札幌ユネスコ協会 TEL：011-251-6670 または、北海道ボランティア・市民活動センター〈担当：荒関〉
Eメール k.araseki@dosyakyo.or.jp TEL：011-271-0683 FAX：011-281-0590

随時 知的障がい者にスキーの指導を行います

私には知的発達障がいがあり、札幌市内のスポーツ用品店に勤務しながら、日本障害者スキー連盟内「日本知的障害者スキーチーム」の全日本ナショナルチーム SA 指定強化選手として活動しています。1月には「2009 INAS-FID スキー世界選手権大会 in イタリア・セストリエール」で優勝しました。チーム Japan としても、金メダル5個、銀メダル2個を獲得しています。札幌在住の知的発達障がい者(男女不問)でスキーに興味がある方や将来スキー選手を目指す方には、ご希望であれば大会などの情報を提供するほか、指導を行いますのでどうぞご連絡ください。また、12月(26～29日)と2月に、日本知的障害者スキー協会(東京)が、札幌で強化指定選手による合宿や講習会を開きます。用具があれば、練習への参加も可能です。お問い合わせください。



- お問合せ／Eメール tagawa_747-saj_fid-@ezweb.ne.jp 〈担当：田川聡史〉

厚生労働省事業平成21年度コミュニティ・ジョブ支援事業(モデル事業)						NPOで起業をしてみませんか?								
コ	ミ	ユ	ニ	テ	イ	ジ	ョ	ブ	人	材	育	成	講	座
2010年1月18日(月)から1月22日(金)の5日間、10:00～17:00										労務管理 NPOマネジメント NPO会計 組織運営 NPO職場体験 資金調達など				
21日(木)はNPO職場体験を行います。定員は10名です。														
※対象 NPO法人やコミュニティ・ビジネスでの起業、就業を希望する現在求職中の若者や団塊世代の方・NPOに興味のある方全般が対象です。応募者多数の場合抽選の上決定致します。会場は北海道NPOサポートセンター会議室で講座を行います。														
●問い合わせ：コミュニティ・ジョブ相談センターさっぽろ 担当者 北村・畑 ●住所：札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル 2F 北海道NPOサポートセンター内 ●TEL：011-204-6523 ●問い合わせメール：hokkaido-job@dosanko.org														
●ホームページ： http://hokkaido-job.dosanko.org/														

随時 視覚障がい者の外出同行ボランティア

視覚障がいがあって白杖を使っている方が、病院や旅行、講習会などに公共交通機関を利用して出かける際に同行してお手伝いしています。日時は利用者の必要に応じ、かかる費用は全額視覚障がい当事者が負担します。私たちと一緒に活動しませんか。

- 例会日時／第1水曜日 13:30~16:00
- 例会場所／札幌市社会福祉協議会（札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階）
- 参加費／年会費1,000円、保険料500円
- お問合せ／手引きの会ステッキ TEL・FAX：011-762-2381 または 011-879-8515

1/30 他 除雪ボランティア募集

菊水地区は独居高齢者や高齢者夫婦世帯が多い地域です。札幌市の福祉除雪サービスの適用とならない世帯やそれに準じる世帯を対象にした除雪作業を行うため、ボランティアを募集しています。屋根の雪下ろしや排雪などは行いません。当方でボランティア保険をかけます。2日間限りですが、どちらか1日の参加でもかまいませんので、どうぞよろしくお願ひします。

- 日時／2010年1月30日(土)、2月20日(土) 10:00~12:30頃
- 集合場所／札幌市白石区菊水4条1丁目9-22 勤医協札幌病院内
- お問合せ／介護予防センターきくすい〈担当：土屋・菊地・菅野〉 TEL：011-820-1365

1/10 知的障がい児者のスキーサポートボランティア募集

スペシャルオリンピックス(SO)は、知的発達障がいのある方々(アスリート)に、スポーツトレーニングと、その発表の場となる競技会に参加する機会を提供しているボランティア団体です。現在、スキー練習のコーチやサポートをしてくれるボランティアさんを募集しています。アスリートの競技レベルは様々です。ボランティアさんの資格や経験は問いません。アスリートはコーチやサポーターと一緒に、「できなかったことが少しでもできるように」「できることがさらに上手になるように」を目標にしながら練習に励みます。彼らがよりスポーツを楽しめるように、できる範囲でご協力ください。



- 期間／2010年1月10日~3月中旬の隔週末
- 場所／フッズスキー場(札幌市南区藤野473-1)
- 交通機関／駐車場500台分有(無料)。地下鉄南北線「真駒内駅前」からシャトルバスも出ています。
- その他／リフト代は会が負担します。
- お問合せ／スペシャルオリンピックス日本・北海道札幌地区会〈担当：渡部〉 Eメール miki316072@nifty.com
TEL：011-753-2910 FAX：011-752-1230 ホームページ <http://www.son.or.jp/>

登録ヘルパー募集中

興味のある方 ぜひお気軽にご応募ください♪

急募

- 資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上
夜間は年齢不問
運転免許必須 南区在住の方(周辺の方も応相談)
- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可
- 給与／時給930円(交通費400円。深夜手当などの諸手当有り)
- 勤務場所／南区とその周辺
- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、下記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ ヘルパーステーションせせらぎ
〒005-0804 札幌市南区川治4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840

寄付をお待ちしております

月刊ボラナビは、みなさんの寄付で発行しています。

1万円以上の寄付については、裏表紙でお名前をご紹介します。

クレジットカードからも受け付けます。

携帯電話で簡単寄付
(クレジットカードのみ)

NPO法人ボラナビ倶楽部

随時 知的障がい者支援

「ふつうに暮らしたい」「地域で暮らしたい」というのが、知的障がいがある人たちの強い願いです。自立を目指すには、働くところ、住むところ、余暇を楽しむところ、それぞれの場所において彼らを支える人たちの輪が必要です。私たち「りぼん」は、知的障がい者が地域で暮らせる社会、彼らの心豊かな生活を目指して行動しています。私たちが行なう宿泊・デイサービス事業を手伝っていただけませんか。宿泊事業では食事作りやお掃除などを、デイサービス事業では障がいがある利用者にあわせたサポートをお願いします。利用者と一緒に楽しんでくださる方、興味のある方はぜひご連絡をください。

- 時間／宿泊事業に関しては、お願いする内容によって時間が異なるので、お問い合わせください。
デイサービス事業は、平日 14:30～17:00、土曜日 10:00～14:00
- 場所／札幌市西区平和1条8丁目2-18 りぼん事務所1階
- その他／ボランティアの方には、交通費を含め1,000円/回をお支払いします。
- お問合せ／NPO 法人知的障害者在宅支援りぼん TEL:011-665-8004 FAX:011-665-8080

随時 高齢者福祉施設のボランティア募集

高齢の方が過ごしている施設で、一緒に楽しく活動してみませんか。ボランティア経験のない方や、ご年配の方の参加も歓迎です。

- ・特別養護老人ホーム藤苑…お話し相手、レクや外出行事のお手伝い、シーツ交換、その他皆様の特技や趣味をいかしたボランティア。
 - ・藤苑デイサービス…施設を利用されている方の入浴後にドライヤーをかけたたり、オセロやおはじき、折り紙などで遊んだり、外出行事のお手伝い。
 - ・グループホーム藤苑…お話し相手のほか、趣味をいかした活動や、料理、散歩、外出行事のお手伝い。
- 3施設は隣接しており、ご希望されるボランティア内容に合わせて活動していただけます。まずはお気軽にご相談ください。

- 日時／月～金曜日 9:00～17:00
- 場所／札幌市東区伏古7条3丁目1-33
- 交通機関／地下鉄東豊線「元町駅」より中央バス〈東70〉元町線「伏古7条3丁目」停留所下車徒歩3分
- お問合せ／特別養護老人ホーム藤苑・藤苑デイサービス・グループホーム藤苑〈担当：鈴木・宮内〉
TEL:011-781-2400

アラフォー～アラ還を大募集!

楽しいボランティアの話、聞きに来ませんか?
落語もあります!

「アラフォー、アラ還のためのボランティア入門講座」とボランティア活動紹介
ぜんぜんむずかしい話じゃないです。落語を楽しみながらボランティアについて勉強!

とき 12月12日(土) 13:00～16:15 / ところ ホテルさっぽろ芸文館(元・北海道厚生年金会館/札幌市中央区北1西12)
出演 林家とんでん平さん・いろいろなボランティアをしている人たち / 定員 100名

もう少し知りたい方に

「ボランティア講座(入門編)」(講師 ボラナビ倶楽部 森田麻美子さん)
とき 1月9日(土)、1月16日(土) 10:00～15:00 2回シリーズ
ところ 札幌市教育文化会館(札幌市中央区北1西13) / 定員 25名

もっと知りたい方に

「ボランティア講座(応用編)」(講師 シーズネット 岩見太市さん)
とき 1月23日(土)、2月6日(土) 10:00～15:00 2回シリーズ
ところ かでる2.7(札幌市中央区北2西7) / 定員 25名

どの講座も、どなたでも参加でき、しかも無料。お気軽にご参加を。事前にお申込みが必要です。
詳しくは 北海道社会福祉協議会 (TEL 011-271-0683 または 011-271-1574) まで。

随時

デイサービスで見守りボランティアしませんか

円山溪仁会デイサービスでは、利用者とお話しをしたり、お茶の用意や配膳、コップを洗うなどの活動をしてくださる見守りボランティアさんを募集しています。関心のある方はお気軽にお電話ください!!

- 日時/毎週金曜日 9:30~15:30 (応相談)
- 場所/円山溪仁会デイサービス (札幌市中央区大通西 26 丁目 3-16)
- 交通機関/地下鉄東西線「円山公園駅」より徒歩 2 分
- 交通費/一律 400 円支給します。
- その他/性別、年齢は問いません。排泄や食事などの介助はありません。
- お問合せ/円山溪仁会デイサービス <担当: 武内、河野、保木>
TEL: 011-632-5500 FAX: 011-632-1125 ホームページ <http://www.keijinkai.com/maruyama-h/>

随時

国内外のワークキャンプや中長期ボランティアの参加者を募集

“カラフルでヘルシーな地球社会”づくりを目指し、国内外でワークキャンプや中長期ボランティアを行う特定非営利活動法人 NICE (ナイス) では、参加者を募集しています。ワークキャンプとは世界中から集まった仲間と寝食をともにしながら地域の人たちと行うボランティアで、環境保護や福祉、農業、村おこしなど各地域の特色あるプロジェクトに取り組んでいます。ボランティアワークにとどまらず自炊による食事、夜間のワークショップの実施など人間的成長もかなえるワークキャンプは現在、世界的広がりを見せています。参加者が私たちの活動に興味を抱いたきっかけは「国際ボランティアをしてみたい」や「世界の若者と友達になり、異文化交流をしたい」「外国語がうまくなりたい」「環境・福祉・開発などの問題を学びたい」などさまざまです。ワークキャンプの期間は 2~3 週間で海外へは世界 98 カ国 3000 カ所に派遣。2 ヶ月以上にわたる中長期ボランティアも世界 27 カ国へと派遣しています。国内では、各地でワークキャンプや中長期ボランティアを受け入れており、きっとあなたにぴったりの活動が見つかるはずです。参加者の不安を解消するため、体験談&説明会も開催しています。みなさんが一歩を踏み出すお手伝いをします。各プログラムの詳細はホームページでご確認ください。

- お問合せ/NICE 全国事務局 TEL: 03-3358-7140 (月~金 10:00~12:30、13:30~18:00)
ホームページ <http://nice1.gr.jp> 東京都新宿区新宿 2-1-14 エレメント新宿ビル 401
※参加申し込みをする際は、「ボラナビを見た」と言ってください。



平成21年度
NGO相談員

北海道のNPO・NGOの 相談業務承ります!

(財)北海道国際交流センター (HIF) は道南を中心にホームステイ、国際交流や地球環境、NPO・NGOサポートなどの活動をしている団体です。2009年度の外務省NGO相談員です。北海道全域の相談業務に対応するため、HIF札幌デスクを開設しています。よりきめ細かい相談や出張サービス (いずれも無料) を承ります。

詳しくは、札幌デスク NPO法人ボラナビ倶楽部 または
(財)北海道国際交流センター (HIF) までお問い合わせください。
TEL: 0138-22-0770 FAX: 0138-22-0660
Eメール info@hif.or.jp ホームページ <http://www.hif.or.jp>



随時 障がい者の作業サポートボランティア

地域活動支援センターポプラは、身体、知的、精神障がい者で就労が困難な方を対象に、作業したり、お互いを尊重しながら楽しく生活できる場として誕生しました。フクロウストラップなどの木工芸品や、BOX ティッシュカバー、通帳・カードケースなどの手芸品を作成しています。私たちの活動をサポートしていただけませんか。障がいのある利用者さんとおしゃべりすることも大歓迎です。なお、福祉ショップ「いこ〜る」(JR「札幌駅」1階西コンコース北口)や、元気ショップ(地下鉄東西線「大通駅」コンコース)で作品を販売しています。

- 日時/月～金曜日 9:30～15:00 の中でご都合の良い時間
- 場所/札幌市白石区東札幌2条5丁目9-15 コーポラス丸亀 104
- 交通機関/地下鉄東西線「白石駅」徒歩5分
- お問合せ/地域活動支援センターポプラ <担当:石山> TEL・FAX:011-823-8239

常時 アザラシ生態調査ボランティア募集

2003年から焼尻島でアザラシの生態調査をほぼ一人でやっています。2008年には「焼尻ごまちゃんクラブ」を立ち上げ、現在、18～70歳の幅広い年代20人程が集まり、アザラシ調査について話し合っています。私たちの目的は、アザラシの生態に関して真実を後世に伝えることです。調査ボランティアに参加しませんか? アザラシを見ていると、いやされますよ。12月上旬には懇親会を札幌で行います。まずはお気軽にご連絡ください。

- お問合せ/焼尻ごまちゃんクラブ <担当:河野> Eメール gomafu-hungskangee72@ezweb.ne.jp

12/10 小学生の冬の野外体験活動サポートボランティア募集

私たちは、毎年夏・冬休みに、石狩市の小学3～6年生を対象に、自然の中で思いきり遊ぶ体験活動を実施しています。今回は2010年1月8日(金)～10日(日)の2泊3日、南富良野町の金山湖周辺で行ないます。そこで、子どもたちが安全かつ充実した活動ができるように見守り、活動運営をサポートするボランティアを募集します。18歳以上で子どもの体験活動に興味があり、全日参加できる方はぜひご応募ください。なお、ボランティア希望者には、必ず打ち合わせに参加していただきます。

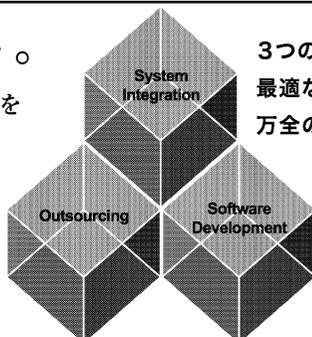
- 打ち合わせ日時/12月26日(土) 10:00～16:00
- 打ち合わせ場所/石狩市花川北コミュニティセンター
- 申込締切/12月10日(木)
- その他/南富良野町へは石狩市役所前から大型バスで向かうため、活動当日は市役所前(中央バス「石狩庁舎前」下車)に8時集合。3日間の活動に対し、謝金9,000円をお支払いします。別途傷害保険料として500円がかかります。応募の際に参加理由を簡単にお聞きします。
- お問合せ/NPO法人こども・コムステーション・いしかり <担当:尾関> Eメール comstation@ray.ocn.ne.jp TEL・FAX:0133-64-5640 ホームページ <http://isikari.fc2web.com>

ITで未来をクリエイト。

私たちHBAは、お客様とお客様の未来を先進のITで結ぶクリエイター

 **株式会社 HBA**

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目1番地8
TEL.011-231-8301 FAX.011-281-0915
<http://www.hba.co.jp/>



3つの事業をリレーション。

最適な情報システムの提案、構築、運用を万全のセキュリティで総合的に行います。

- システムインテグレーション
- アウトソーシング
- ソフトウェア開発

HBA Relation System

おみせフォーメーション

mini-information
"minformation"

12/3 締

▶再評価カウンセリング体験クラスのお知らせ
▶12/6(日)13:00~16:00 札幌市中央区民センター つどいA
(地下鉄東西線「西11丁目駅」徒歩5分)

再評価カウンセリングは、専門家ではない一般の人同士が時間を等分し、聞き手と話し手が交替して話を聞き合う手法で行います。聞き手の温かいまなざしと愛情を感じながら自分の生きてきた過程を思い出しつつ話す中で、参加者が傷ついた過去の出来事について、泣く・笑う・震えるといった《感情の解放》をし、本来持っている知性や力を取り戻す(再評価する)ことを目的としています。この度、体験クラスを行いますので、興味のある方はぜひ参加してください! 参加費 1,000 円。☎再評価カウンセリングの会 <松橋> TEL: 011-695-2477

12/10(木)~13(日)

▶乱拍子公演「小春」
▶A 12/10(木)18:30~19:30.
B 12・13(土・日)10:30、14:00、18:30~(13日は14時最終)
やまびこ座 (札幌市東区北27東15 地下鉄東豊線「元町駅」下車)

私たち乱拍子は、伝統芸能の流れを汲みながら和太鼓を柱に新しい響きを生み出しています。これまで札幌を拠点に、韓国やイギリスでも公演してきました。ぜひ日本の伝統芸能の素晴らしさを肌で感じてください。客席の皆さんも参加できる演目があります。A前売 2,000 円、B前売 2,500 円。子ども、家族、団体割引有(要予約)。当日券有。Bは1時間半の公演。☎新芸能集団「乱拍子」<村場> TEL・FAX: 011-855-2029 Eメール murabake@yahoo.co.jp ホームページ http://www.geocities.jp/muraba_taiko/

12/20(日)

▶「教文13丁目笑劇一座」笑い納めミニライブ
▶14:00~15:00 札幌市教育文化会館市民ロビー(札幌市中央区北1西13)

私たちは、北海道発の新たな「笑いの文化」創造を目的に、小学生から70代の幅広いメンバーで活動する市民喜劇団です。第1期生による10分程度の短編喜劇3本を上演します。無料。この機会をお見逃しなく。
☎財団法人札幌市教育文化会館事業課 TEL: 011-271-5822 ホームページ <http://www.kyobun.org/>

12/20(日)

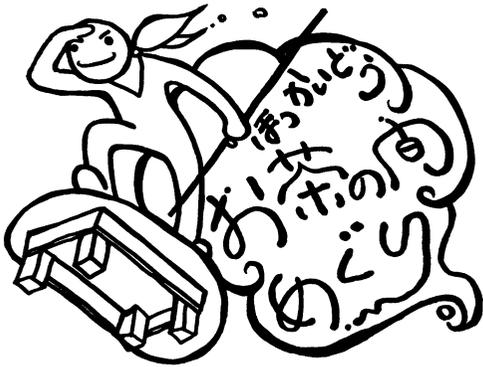
▶子どもミュージカル「TreeはTrue」~ほく、いる?~
▶19:00~(開場18:30) 札幌市教育文化会館大ホール(札幌市中央区北1西13)

私たちは、親の虐待などで家族と暮らせない子どもをお世話するボランティア団体です。代表が牧師を務める教会に通う子どもたち40人で、毎年ミュージカルを上演しており、今年で23回目を迎えます。どうぞご覧ください。入場料 2,500 円。☎チルドレン・レスキュー・ミッション <児玉> Eメール nico.mebig.1996.12.15@gmail.com
TEL: 011-872-3211 (教会) FAX: 011-872-6441 ホームページ <http://www.mebig.com/musical/>

随時

▶がん患者の交流に部屋を無料開放
▶北海道がんセンター
(札幌市白石区菊水4-2-3-54 地下鉄東西線「菊水駅」下車、<3番出口>より徒歩3分)

北海道がんセンターでは、当院4階管理棟の一室(広さ約50平方メートル。テレビ、ビデオデッキ、ソファ、テーブル、パソコン、流し台付き)を各がん患者会やがん患者交流の場として、2007年8月より無料で開放しています。日曜祝日も含め8:30~17:15まで使用可能です。なお、事前使用登録申込書と使用申請書が必要です。どうぞご利用ください。☎独立行政法人北海道がんセンター Eメール nohara@sap-cc.go.jp
TEL: 011-811-9118 FAX: 011-811-9110 ホームページ <http://www.sap-cc.org/hp/hidamari/index.html>



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

このコーナーは、赤い羽根共同募金の支援を受けています。

Vol.27 ねっこぼっこのいえ

- 場 所 札幌市豊平区月寒東1条2丁目10-9 しのめ幼稚園隣
- 日 時 火・金曜日 14:00~16:00 (開始を30分繰り上げる時期も有)
水曜日 12:00~16:00。開催時間内なら、出入り自由。
- 参加費 無料。企画によっては、材料費などで100円程度かかることもあります。
- 参加対象 どなたでも
- 主催・連絡先 ねっこぼっこのいえ
Eメール nekko_bokko_home@yahoo.co.jp
TEL・FAX: 011-852-1100
ホームページ http://www.geocities.jp/nekko_bokko_home/



お茶の間について

午前中は、絵本を楽しむ会、障がいを理解する会、赤ちゃんの広場などの定期開催のほか、みんなの声でつくる「この指とまれ企画」(ピアノコンサート・着付け教室・布ぞうりづくりなど)を実施しています。午後は「しのめ幼稚園」をお借りして、泥遊びをしたり、その日の流れでおやつ作り・工作・手芸をしたり、外に出て忍者修行(!?)をしたりしています。おばあちゃんやおじいちゃんと、よもぎもち作りや「トンカチ広場」で異世代交流することもあります。



メッセージ

しのめ幼稚園とPTA、月寒教会が協力し合い、2007年にスタートしたボランティア団体です。「大人も子どもも育ち合おう!」、「一人ひとりの違いを認め合い、受け入れよう」、「各人のペースを尊重し、『お互い様』と支え合おう」、「参加する人が主体的に発言し、行動できる場にしよう」といった指標を掲げています。支える人と支えられる人といった区分をしないようにし、広場に来ているみんなで子どもたちを見守っています。ボランティアでいろいろな方が参加しています。ぜひ遊びにいらしてください。



ボラナビカフェも
毎月開催しています。



日 時 / 12月26日(土) 10:00~11:30
場 所 / ボラナビ事務所(中央区北5西6 札通ビル7階)
内 容 / テーマを決めずに楽しく話し合う場です。
参加費 / 300円 定員 / 10人
参加方法 / 1週間前までに要予約。

TEL: 011-242-2042

volunavi@npohokkaido.jp

月寒あんぱん本舗 榎ほんま様より茶菓子の提供があります。

10月の

事務局の1カ月を
振り返りつつご紹介



- 2(金) ● 札幌市さぼーとほっと基金の情報交換会に参加。様々な団体の方と、寄付の集め方や基金の活性化について意見交換した。
- 6(火) ● NPO 法人地域創造ネットワーク ジャパン(東京)主催「つながってつないで地域力創出 in 札幌～地域共生・協働研修会」に出席。NPO と労働組合という組み合わせが新鮮だった。

- 7(水) ● 出張芸ボランティアに登録されている方から「謝礼」と書かれた封筒を受け取って領収書にサインをし、帰宅。しかし、封筒の中は空だったそう。 ● ボラボラ(ボラナビ倶楽部のボランティア)さんのお一人が来所。近所にポスティングするために、ボラナビをたくさん持っていってくれた。
- 21(水) ● ボラボラさんがいらして、各所に配置されている月刊ボラナビの残部状況を教えてくれた。
- 24(土) ● ボラナビカフェ開催。このページの下部にレポートを掲載しています。その分、事務局日誌のスペースが小さくなりました。 ● セルフヘルプの輪で紹介予定の団体を取材。夜10時まで、会合にお邪魔させていただいた。
- 30(金) ● 北海道放課後子どもプラン推進委員として、旭川で行われた研修を森田が視察。

ボラナビ倶楽部の会員になりませんか？

社会を変えたい人

一緒にボラナビを育ててみたい人

市民活動やボランティアに興味がある人

ボラナビ大好きな人

■年額 / 個人5千円、法人1万円。

■特典 / 月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる。会員メールマガジン(2010年4月スタート)を受信できる。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できる等。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細 / ホームページで検索

※会員期間は、来年度(2010年4月～2011年3月)です。なるべく、2010年3月までにお申し込みください。今年度の会員もまだ募集しています(個人のみ3千円)。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042

月刊ボラナビの配置先 ボラナビは毎月25日に発行しています(約1,000ヶ所に無料配布中)。今月は札幌市豊平区の配置先をご紹介します。

●札幌市 ■厚別区/JR厚別駅/JR新札幌駅/こまそば鶴喜大谷地店/びっくりドンキー(新札幌デュオ店・ひばりヶ丘店)/北海道エネルギー(厚別通西・チャレンジ新札幌・大谷地・セルフベニータウン)/札幌信用金庫新札幌支店/北海道銀行(大谷地支店・新さっぽろ支店・平岡パーク出張店)/厚別区社会福祉協議会/厚別区図書館/厚別区民センター/厚別区役所/厚別西地区センター/厚別南地区センター/まちづくりセンター(厚別中央・厚別南・厚別西・もみじ台・青葉・厚別東)/厚別体育館/厚別温水プール/札幌日産自動車厚別支店/㈱日産サテオ札幌厚別支店/Honda Cars 札幌厚別中央通店/ Coop さっぽろひばりが丘店/マックスバリュ(森林公園店・厚別店・厚別東店)/スーパー JOY 厚別店/ディーナール上野幌店/ホクレンショップひばりが丘店/ダイエー新さっぽろ店/北星学園大学/ドコモショップ(新札幌店・厚別西店)/北電札幌東支店/ニトリ新札幌店

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

※配置に協力していただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様のご協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

カフェレポート

10月のカフェには大学生から70代と幅広い年代の方が8人集まり、おしゃべりしました。「夫を亡くして一人になった。独立した子どももか田舎の親と暮らすようにすすめる知人もいるが、抵抗がある。でも孤独を感じる」とこぼされた方に、「孤独はマイナスとは限らない」と励まされた方もいました。自閉症の子どもを対象にした家庭教師をしている方は、組織的な活動に発展しそうな状況をお話ししてくださいました。同様のボランティアをしたことがある方もいて、話が膨らみました。みんなで農作業をしているというNPOの方には写真も見せていただき、その楽しそうな雰囲気、何人かが見学にうかがう約束をされていました。どの方の口からも第一印象からはうかがい知れない話が出ていて、誰もが聞きながら驚いたりうなずいたり、初対面の方々とおしゃべりをする楽しさを感じられているようでした。



ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (ヤユヨ順)

遊佐新聞販売株式会社様

NPO 法人チャリティ・プラットホーム様

北雄ラッキー株式会社様

株式会社 HBA 様

株式会社土屋ホーム様

北海道銀行様

株式会社 NTT ドコモ様

寺岡ファシリティーズ株式会社様

北海道新聞社様

札幌信用金庫様

富永マサエ様

有限会社北海道新聞中田専売所様

札幌通運労働組合様

中道リース株式会社様

北海道文化放送様

城宝和茂様

株式会社ニトリ様

進藤芳彦様

匿名希望者様

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000 円以上の寄付金や、この欄への 10,500 円の寄付広告をくださった場合は、お名前を誌面でご紹介しています。ぜひ、ご協力ください。政治団体・宗教団体などからの寄付はお断りさせていただく場合があります。ご了承ください。

■情報掲載料金 (各 1 号につき)

種 類	サイズ (天地×左右)	料 金
企業・行政など広告A	50 mm×157 mm	63,000 円
企業・行政など広告B	50 mm× 76 mm	31,500 円
NPO・NGO の情報A	50 mm×157 mm	10,500 円
NPO・NGO の情報B	50 mm× 76 mm	5,250 円
NPO・NGO の情報C	定型	無 料
裏 表 紙	50 mm×157 mm	105,000 円
バナー広告	60 ピクセル×120 ピクセル	52,500 円

※基本的に前払いをお願いいたします。

※上記の料金は、ご自身で制作された場合のものです。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。(A=6,300 円、B=4,200 円、バナー広告=6,300 円)

※誌面構成上、広告スペースは白地とし、スペース全体にベタ引き・アミ引きの使用はご遠慮ください。

※バナー広告の掲載団体・個人は協賛一覧でご紹介させていただきます。

※「NPO・NGO の情報 C」は、誌面の都合により掲載できない、又は縮小する場合があります。

■定期購読のご案内

●各号 1 部 (6 ヶ月間)..... 1,575 円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

●お申込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合 (特に企業でお申し込みの場合) は、協賛をご検討くださいますようお願いいたします。

協賛については上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部へのお振り込みは

■ゆうちょ銀行 (郵便振替)

02700-1-5671

■北洋銀行北 7 条支店

(普)3662056

■北海道銀行札幌駅北口支店

(普)0816050

■北海道労働金庫道庁支店

(普)3153060

■札幌信用金庫本店

(普)4255071

●口座名: ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、支払い手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。「ボラナビモバイル」はこちらから↓



QRコード対応携帯のみ

北海道新聞をはじめとする、地域の新聞社が運営するショッピングサイト「よんななクラブ」では、日本各地の逸品・特産品をお届けしています。



よんななクラブ

検索



株式会社47CLUB ■ <http://www.47club.jp/> ■ e-mail:customer@47club.jp